

坪井遥司

MPコース1年生

TSUBOI YOJI

研究、スポーツ、趣味、特技……。学内外のさまざまな場面で活躍する岡大生たち。そんなキラリと光る学生を、同じ学生の目線から紹介する。



学部には属さず、一人一人の目標に応じたカリキュラムを履修するマッチングプログラムコース（MPコース）。今年度は16人が入学した。「調味料を開発したい」「運動栄養学を学びたい」「新分野の研究で国際的に活躍したい」「スポーツと両立を」「触媒に興味がある」「音声認知の研究に取り組みたい」。それぞれの口から飛び出す明確な目標。「サラダボウルみたいでしょ」。彼ら自身がいうように16人はとても個性的だが、どこかまとまりがある。既存の枠にはまらないMPコースは彼らにとって、とても居心地のよい場所のようだ。

Matching Program Course

マッチングプログラムコース

学生一人一人の個性や能力を一層伸ばすことを目指して、既存のカリキュラムの枠組みを越えて学部・学科を横断的、主体的に履修プログラム（課題提案型履修プログラム）を作ることにより、各自の学習目的を達成するとともに明確なキャリアデザイン能力を持つ学生を育成するコース。所定の単位を修得した学生は、卒業認定に基づき「学士（学術）」の学位が授与される。



「日々、目にするスケートリンクに自らの興味を持つようになった。何かスポーツに打ち込みたいと思ったとき、選んだのがフィギュアだった」と振り返る。中学時代では毎年、全国大会に出場。高校はスポーツ特化ではなく、公立進学校の県立岡山芳泉高へ進んだ。「スポーツだけでなく勉強も」と

「五輪挑戦したい」
銀盤舞うMPの星

岡山市北区）の隣にある小学校に通っていた。「日々、目にするスケートリンクに自らの興味を持つようになった。何かスポーツに打ち込みたいと思ったとき、選んだのがフィギュアだった」と振り返る。中学時代では毎年、全国大会に出場。高校はスポーツ特化ではなく、公立進学校の県立岡山芳泉高へ進んだ。「スポーツだけでなく勉強も」と

「大学では医学や教育学など、指導の役に立つ多様な学問を学びたい」。そんな時、高校の恩師に紹介されたのが、岡山大学MPコースだったという。既存の枠にとらわれず、自由に学べるMPコース。「自分の夢を叶えられるのは、ここしかないと思った」。

「大学では医学や教育学など、指導の役に立つ多様な学問を学びたい」。そんな時、高校の恩師に紹介されたのが、岡山大学MPコースだったという。既存の枠にとらわれず、自由に学べるMPコース。「自分の夢を叶えられるのは、ここしかないと思った」。



インタビュー
岡山大学学生広報スタッフ
経済学部経済学科4年
佐野 恭平

でなく縦の繋がりも深いことが魅力」と話す。現在、坪井さんは解剖生理学、教育学、外国語を中心に、幅広い分野を履修。昼間は大学で勉強、帰宅後は練習のためリンクへ向かう。練習時間は平日で3〜4時間、休日でも5時間程度と、国際的に活躍する選手にしては少ないが、「だからこそ、短時間で集中して練習し、高い成果を挙げられるようにしている」と頼もしい。MPコースでの勉強と、帰宅後の練習で充実した毎日を送る坪井さん。日々の努力が実を結ぶ日は近いだろう。